

成人用肺炎球菌ワクチンOnlineセミナー

謹啓 時下、先生におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、弊社製品に関しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さてこの度、「成人用肺炎球菌ワクチンOnlineセミナー」を次のとおり開催させて頂く運びとなりました。
つきましては、ご多用とは存じますが、ご参加賜りますようご案内申し上げます。

謹白

日時：2022年6月1日（水） 18:30-19:15

会場：江津市医師会 2F

**単位申請予定・複数施設のためお弁当提供予定。
18:30-19:00**

座長

大石 和徳 先生

富山県衛生研究所 所長

演者

内藤 俊夫 先生

順天堂大学医学部 総合診療科学講座 教授

**いま知っておきたい高齢者の肺炎予防
～COVID-19の影響と肺炎球菌ワクチンについて～**

19:00-19:15：ディスカッションパート

定期接種対象者の接種率向上のための課題と今後の期待について

ペニシリン耐性肺炎球菌により治療に難渋するケースも報告されており、肺炎球菌ワクチンの重要性は増している。我々の研究では、入院前に接種を行うことにより、高齢者の入院中の死亡率の低下、在院日数の短縮、医療費の削減が認められている。本ワクチンは米国CDCから「大災害時に成人被災者が接種すべき」と推奨されており、東日本大震災においては大規模な無料接種プログラムが実施された。今回、COVID-19のパンデミック後に急激に接種希望者が増加しており、平時からの接種の必要性が示された。

2014年に開始された定期接種制度により接種率は確実に上昇しているが、未だ十分とは言えず、さらなる普及のために我々医師の責任は大い。順天堂大学医学部総合診療科では、医療の質の指標として「65歳以上の患者の肺炎球菌ワクチン接種率」を測定している。担当医別の接種率を毎月公表することで、医師の自覚を促し接種率の向上に役立てている。来院時の問診票に印をつけるだけで接種率が5%から42%に改善されたとの報告もあり、担当患者の接種率向上のために工夫が必要である。

- 講演・質疑ともにLive配信いたします（ご質問は質問フォームにて受け付けております）。
- ご質問は講演会中、随時受付いたします。時間の都合上、全てのご質問にお答えできない場合もありますことをご了承ください。
- 本インターネット講演会のご参加に当たり、弊社による交通費の負担はできませんことをご了承ください。

主催：  **MSD** MSD株式会社